

# 一般質問

6月14～16日に22人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁の概要をお知らせします。また、議会ホームページでは、インターネットによる動画配信も行っています。



QRコードを読み取ることで、各議員の質問の様子を映像にてご覧いただけます。



太陽クラブ  
教育課題を問う

北浦 義一



**Q** 60年ぶりに大幅に見直された教育委員会制度において、教育長は、市長が議会の同意を得て直接任命し、任期も他の教育委員より1年短い3年となった。教育長の所信を伺う。

**A** 教育委員会の責任の明確化、いじめを始めとした危機管理への迅速な対応、市長との連携強化を主な目的として、教育委員会制度が見直されました。

当市では昨年度に、小学校の教頭による不祥事が続き、2名が懲戒免職あるいは依願退職するといった事態を招きました。学校や教職員に対する信頼回復が、私に課せられた第一の使命と受け止めています。

市長との連携では、総合教育会議だけに留まらず、定期的な意見交換の場の設定を市長にお願いしており、そうした中で、市長との合意形成に努め、教育委員会自体のしっかりした組織管理にも努めていきます。



建て替えが待たれる能登川スポーツセンター

**Q** 能登川スポーツセンターの整備はいつになるのか。  
**A** 耐震補強については、大変大規模な改修工事になり、費用も高額になることから、現在地周辺での建て替えも視野に入れています。32年度の完成を目指して取り組んでいます。



太陽クラブ  
この通学路、大丈夫？  
安田 高玄



**Q** 小学校・中学校の通学路について、  
①通学路点検の効果は。  
②危険箇所は児童生徒、保護者に注意・啓発できているか。  
また、通行される方への周知方法は。

**A** ①年1回、市長、教育長、東近江警察署長、東近江土木事務所長等による合同点検を実施し、歩道の確保、路側帯のカラー化、新たな交通規制、信号機

②危険箇所は保護者、PTA、地域住民の意見を踏まえ選定し、点検結果は市ホームページで公表しており、保護者へはこのことについて、PTA総会や地区懇談会等を通じ、お知らせしています。

また、グリーンベルトや路面標示、看板の設置などで通学路であることの周知を行っています。



③稲垂町地先は歩道整備が完了しており、名神高速道路路横断部から川合町地先信号交差点間については、グリーンベルトで安全確保を図っています。  
しかし、道路幅が狭いところもあり、特に大型車両通行時の安全確保は十分とは言えないので、稲垂町の小学生の通学には通学バスを運行し、安全の確保を図っています。



太陽クラブ  
電力料金はもっと下げられる  
杉田 米男



**Q** 電力の小売り全面自由化に伴い、当市も新たに小売電気事業者と電気需給契約を結ぼうとしている。

当市の公共施設の電力料金は合計で約5億円と聞いているが、今回の契約によりどれくらい安くなるのか。

**A** 27年度の電気料金で試算すると、約4千万円安くなると見込んでいます。

**Q** 滋賀県では、全ての県有施設において、会計管理局が知事部局、教育委員会、警察本部の各施設における電力使用の状況を把握した上で仕様書を作成され、公平公正に一般競争入札で新電力会社に決まり、契約をされている。

当市では、一般競争入札が原則でありながら、市と小売電気事業者の間に、(一社)八日市まちづくり公社が代理店として加わり、3者による連携協定により随意契約を結んでいる。



市役所の高圧受電設備

随意契約は「大いに問題あり」と考えるが、八日市まちづくり公社の代理店としての役割とメリットは。  
**A** 代理店としての役割は、電気料金単価の価格交渉、毎月の請求書発行、電気料金の徴収および納付です。  
代理店となるメリットは、代理販売での手数料収入が生じ、その収益による中心市街地活性化事業への再投資などが可能になることです。